

みなみあいづ

議会だより

第65号

令和4年8月10日



- P2 第2回臨時会
- P3 6月定例会
- P4～15 一般質問・町政を問う
- P16～委員会活動報告
 - ・文教厚生委員会
 - ・広報委員会
- P17 当選議員の紹介
- P18 議員大会
- P19 表彰の紹介
- P20 はばたけ！ 南会津の子どもたち

飛んでけ
しゃぼんだま

館岩小放課後子ども教室

わいわい遊び塾

→20分で紹介

写真©2021わいわい遊び塾

渡部正義町長一期目がスタート

わたなべまさよし
会議の冒頭、渡部正義新町長が所信を表明し、一期目がスタートしました。



渡部正義 町長

議事では、報告1件、条例改正の専決処分や物品購入契約、監査委員の選任を含む、議案8件を可決しました。

※記事は抽出した議案を掲載しています。(金額は万単位まで、概数で記載)

物品購入契約

たかつえスキー場圧雪車など4件

- 消防団(田島地域) 小型動力ポンプ付き積載車(普通車) 1台
 - 金額 1207万円
 - 契約の相手 会津消防用品(株)
- 消防団(南郷地域) 小型動力ポンプ付軽積載車(軽自動車) 1台
 - 金額 695万円
 - 契約の相手 会津消防用品(株)
- 除雪ドーザ(伊南・南郷地域) 2台
 - 金額 5500万円

議案第25号(専決)

一般会計補正予算(第1号)

議員の 法人税の収入が 質問 約1500万円 増えた要因は。

執行部 コロナの影響を 答弁 考慮した令和3年度予算でしたが、災害復旧などで土木関係の業績好調もあり、結果的に増額になりました。

議員の 財源は。 質問

執行部 事業費の総額は 答弁 8600万円 (当初予算時)です。内訳は、県補助5600万円、過疎債2990万円、残りは一般財源です。

議員の 入札仕様書に見 質問 合う機種は外国メーカー1社しか適合していないと思うが。

執行部 入札仕様書に基 答弁 づき3社が応札しました。

議案第31号

監査委員の選任

町長から監査委員1名の選任案が提出され、審議の結果、全会一致で同意しました。



わたなべ ひろし
渡部 寛氏(下山) 【監査委員】

※第2回臨時会の詳細はスマートフォンなどで左記のQRコードを読み取りご覧ください。



南会津町議会中継
【YouTube】

一般会計補正予算(第2号)

議案第32号

大雪による建物被害修繕費総額4017万円

本庁舎車庫倉庫建設の追加費用1400万円

【工事請負費】

財源の内訳は一般財源1205万円、建物共済保険金2812万円

財源の内訳は一般財源70万円、合併特例事業債1330万円

・たかつえカントリークラブ、クラブハウス 2282万円

・入札不調のため設計変更による増額です。

・井桁(館岩地域)消防車両格納庫500万円

・旧南会津郡役所(設計委託料)315万円 (全8カ所の内、一カ所300万円以上のみ記載)。

町議会議員補欠選 挙費用520万円

財源の内訳は一般財源
・選挙立会人の報酬、公営ポスター掲示板設置、公費で支払われるポスター負担金などです。

令和4年第2回定例会は、8日間の会期で行われ、町からは、条例改正1件、令和4年度補正予算4件、報告4件、その他4件の議案と追加議案1件が提出されました。

また、議会から委員会提出議案2件を提出し、慎重な審議の結果、全議案を可決しました。

議案第37号

令和4年度南会津町一般会計補正予算(第3号)

令和3年度大雪による建物被害

商工費
雪害修繕工事請負費ほか

予算の措置は。

議員の質問
大雪による建物被害件数は前回の臨時議会で44件との答弁でした。

補正予算の総額が1億1800万円にもなっています。雪に対する備えは。

執行部の答弁
降雪前に指定管理者に注意喚起していきます。

議員の質問
屋根の雪下ろしなど、危険を伴う作業もありますが、

教育費
小中学校給食食費上昇抑制事業

議員の質問
業務委託と指定管理の違いは。

執行部の答弁
給食センターは業務委託で、給食の調理と運搬のみを

委託しています。指定管理とした場合は建物の維持管理も含めての委託となります。

議案第36号

教育委員会委員の任命

町長から教育委員会委員1人の任命案が提出され、審議の結果、全会一致で同意しました。



【教育委員会委員】
山本 恭士氏 (田部原)

委員会から議案2件提出

委員会提出議案2件の議案について、全会一致で可決しました。次の2件の意見書を採択、提出しました。

総務委員会提出議案

国へ意見書を提出

採択
刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書

無実の者を救済する法改正を

陳情者 日本国民救済会福島県本部会津支部

古川 晃

付託先 総務委員会

再審請求では、無実を主張する請求人と弁護側から、新規・明白な無罪証拠を提出することが求められます。(中略)

再審開始決定に対する検察による不服申立て(上訴)が許されています。公益の代表者という検察官の法的地位からしても、裁判所の決定にいたずらに逆らい、悲劇を繰り返すことには、法的な制限を加える必要があることは明確です。

採択
地方財政の充実・強化を求める意見書

次年度予算歳入・歳出の的確な見積りを

陳情者 日本労働組合総連合会福島県連合会
南会津地区連合会 議長 佐藤寛喜
付託先 総務委員会

地方公共団体は、度重なる自然災害に対する防災・減災(中略)など、極めて多岐にわたる役割が求められつつあります。(中略)。

このため、2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすことが必要です。よって、地方財政の充実・強化を強く求める意見書を提出するものです。



南会津町議会中継
【YouTube】

※第2回定例会議案審議の詳細は、スマートフォンなどで左記のQRコードを読み取りご覧ください。

町政を問う 一般質問

11人の議員が登壇

登壇順序・質問項目

- 1 **高野 精一 議員**・・・5分
 - ①高齢者の除雪支援は
 - ②祇園会館の今後の計画は
- 2 **室井 英雄 議員**・・・6分
 - ①消防団員の処遇改善対応状況は
 - ②田島地域中心市街地まちなか再生は
- 3 **丸山 陽子 議員**・・・7分
 - ①安心・安全なまちづくりを
- 4 **渡部 優 議員**・・・8分
 - ①障害者福祉政策は
 - ②南会津町公共施設等個別施設計画策定は
 - ③博物館等含め旧山村道場エリア活用は
 - ④管内道路行政は【質問事項のみの表示】
- 5 **楠 正次 議員**・・・9分
 - ①不妊治療費保険適用は
- 6 **馬場 浩 議員**・・・10分
 - ①人口減少対策は
 - ②環境保全型農業の取組は
 - ③学校教育の多様化する課題の対応は
- 7 **大桃 英樹 議員**・・・11分
 - ①町長の選挙公約の実現は
- 8 **渡部 訓正 議員**・・・12分
 - ①放射線の心配のない、シイタケ原木、菌床オガ粉のブランド化を
 - ②森林環境交付金事業の活用を【質問事項のみの表示】
- 9 **山内 政 議員**・・・13分
 - ①社会資本整備事業で青柳橋の改良工事を令和5年度計画に
 - ②多々石地区公共交通の取り組みは
- 10 **湯田 哲 議員**・・・14分
 - ①町長の「星空観察の適地性の宿泊型観光誘客推進」の具体的計画は
 - ②4月に開始した松沢地域デマンドタクシーの利用状況は
 - ③ドローンによる災害対応・農林業振興・観光振興の協議会(クラブ)の設立を【質問事項のみの表示】
 - ④ICT授業の進捗状況、課題及び今後の計画は【質問事項のみの表示】
- 11 **湯田 良一 議員**・・・15分
 - ①デマンドタクシーのエリア拡大を
 - ②新型コロナワクチンの4回目接種を若年層にも

【一般質問とは】

町の行財政全般について議員が提言を含めて町に考えを聞くことです。
令和4年6月定例会の一般質問は、下記の日程で行われました。

6月22日(水)		
登壇順序	氏名	午前・午後
1	高野 精一	午前1
2	室井 英雄	
3	丸山 陽子	午後1
4	渡部 優	
5	楠 正次	午後2
6	馬場 浩	

6月23日(木)		
登壇順序	氏名	午前・午後
7	大桃 英樹	午前1
8	渡部 訓正	
9	山内 政	午後1
10	湯田 哲	
11	湯田 良一	午後2

町議会中継は「午前・午後」の時間帯別になっています。

※一般質問は、スマートフォンなどで右記QRコード(町議会中継【YouTube】)を読み取りご覧ください。



南会津町議会中継
【YouTube】



町政を問う
一般質問

高齢者の除雪支援は

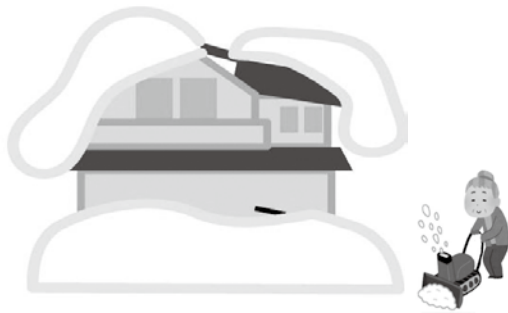
町長 ⇒ 今後も継続して実施

問

個人負担額が1割に
なったのはいつか。

町長

南会津町高齢者除雪支援事業では、70歳以上の一人世帯や高齢者のみの世帯などを対象に課税状況や扶養の有無などに応じ、個人負担額を決めています。
平成18年度以降、現



在まで負担割合は変更しておらず、今後も事業は継続します。

祇園会館の今後の計画は

町長 ↓ 関係する方々と協議

問

祇園会館を取り壊し、警察アパート建設地として提供してはどうか。

町長

再度関係者の方々と議論を深め、提案のありました警察アパート建設地も含め、国道289号田島バイパスに面した一等地である

ことから、おおやけ公の土地利用は関係する方々との協議結果もふまえて方向付けをします。



祇園会館



消防団員の処遇改善は

町長 ⇒ 消防団と協議・検討して行く

問 現行の支給対象の出動および金額は。

町長 非常招集の訓練など

の訓練や検閲式をはじめとした礼式などの活動は、出動1回につき日額4200円、4時間を超えないときは半額の2100円を支給しています。

問 条例が改正された場合、支給対象となる出動に変化はあるのか。

町長 自然災害時

の災害対応（行方不明者（町民）捜索活動）に対して、新たに支給対象にする方向で消防団と協議中です。



問 令和4年3月末日までに条例改正とされているが、改正できなかった理由は。

町長 消防団と十分な協議・検討が必要と考えています。

町長 その協議の結果を踏まえたうえで、条例改正を行います。

問 報酬および費用弁償（出勤手当）については、団員個人に直接支給することとされているが、町の考えは。

町長 今回の消防庁長官通知の趣旨を踏まえた支給方法について、引き続き協議・検討します。

問 田島地域中心市街地まちなか再生について、町の考えは。

町長 今回の計画策定を契機として、他の地域にもその効果が波及し、中心市街地の魅力向上や賑わいの創出につながることであれば、中心市街地の活性化につながるかと考えます。

町長 今回の計画策定を契機として、他の地域にもその効果が波及し、中心市街地の魅力向上や賑わいの創出につながることであれば、中心市街地の活性化につながるかと考えます。

問 対象地区は。

町長 上町地区を中心にし、地区の一部を加えたエリアをモデル地区として位置づけました。

町長 今後の予定としては進捗状況などに合わせて

中心市街地まちなか再生事業は

町長 ↓ この事業は中心市街地の活性化につながる

問 今後の実施スケジュールは。

町長 懇談会を数回開催し、今年度末までには「まちなか再生計画」を策定したいと考えています。



中心市街地の石造りの建築物（田島上町地内）



町政を問う
一般質問

安心・安全なまちづくりを

町長 ⇒ 安心して生活を送れる環境を整える



会津田島駅前交差点



田島郵便局前交差点



国道121号線役場前交差点
会津田島駅への右折レーンが消えている



問

町内の横断歩道や方向指示線が消えていたり、薄くなっています。歩行者が安心して横断できるよう横断歩道や方向指示線などの整備を。

町長

現地を確認したうえで整備の検討をします。県や公安委員会が設置すべき箇所であれば、速やかに設置者に要望します。

問

歩道の傷みが多く、高齢者や障がいのある方の通行や、児童の通学の支障になっています。早急な整備を。

町長

道路のパトロールを行い、傷んでいる箇所については速やかに修繕をしています。国道、県道の歩道は、支障がある箇所を道路管理者へ修繕の要望を

問

駒止トンネルの照明を明るくして欲しいとの声があります。高齢者や目に障がいを持つ方にとって明るい所から暗い所への目の調整は大変です。明るさの強度調整を。

町長

県によると昨年度に設置した照明については、明るさの調整ができませんことから、今後も壁面の洗浄など、トンネル内の維持管理により、視認性を高めていくとのことでした。



障がい者福祉政策は

町長 ⇒ 障がいの特性に応じ対応

問 障害者総合支援法における地域生活支援事業（※参照①）の取り組みは。

町長 聴覚障がい者への意思疎通支援事業、視覚障がい者などへの移動支援事業、訪問入浴サービス事業、福祉用具を給付する日常生活給付事業、成年後見制度利用支援事業を実施しています。

問 障害者差別解消法（※参照②）の取り組みは。

町長 障がい者から訴えがあった場合は、調査し法律の説明と理解を得る個別対応を行い、合理的配慮（※参照③）においては、障がいの特性に応じた対応をしています。

問 障害者情報アクセス法（※参照④）が成立したが今後の取り組みは。

町長 状況を把握してどんな取り組みができるか検討する。

問 手話言語条例の早期制定は。

町長 早期での制定予定はありません。

博物館を含めた山村道場エリアの一体的活用は

町長 ↓ 改めて検討

問 このエリアは一体的活用が計られていないが、今後の在り方をどう考えているか。

町長 平成30年度の「会津山村道場と周辺施設の活用検討プロジェクト」

公共施設等個別施設計画の見直しは

町長 ↓ 10年ごとに見直し予定

問 令和元年度時点の策定結果内容とあるが、その後の時点で見直しをするのか。

町長 10年ごとに見直す予定です。現行は1期目ですが、令和8年までとしますが、上位計画変更や今後、施設の方針などが変われば個別計画に反映します。

問 祇園会館は田島地域唯一無二の施設と考えるが町長の考えは。

町長 本町ならではの特徴的な施設と認識しています。

その他の質問
・管内道路行政は

※参照

- ①障害のある方が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や本人の状況に応じ、柔軟な形態により事業を計画的に実施することをいいます。
- ②正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」です。役所やお店などの事業者が、障がいのある人に対して正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止しています。
- ③障がいのある人は社会のなかにあるバリアによって生活しづらい場合があります。事業者などに対して障がいの人から何らかの対応を必要としていると意思が伝えられたときに負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。
- ④正式名称は「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律」です。

しかし、年間維持費1400万円、空調修繕費など5100万円が見込まれます。屋台格納庫の整備により当初の目的が達成されたことから、今後は現在祇園会館が担っている役割を廃止後どのようにするか、関係者と協議して検討します。



町政を問う

一般質問

不妊治療費への保険適用は

町長 ⇒ 人工授精や体外受精、顕微授精などに適用

問

年齢や治療回数
の制限は。

町長

治療開始時の年齢が40歳未満のとき1子ごとに通算6回までです。40歳以上43歳未満は1子ごとに3回までです。

問

事実婚カップルも保険適用
の必要書類は。

町長

一般的には同居の証明として、住民票や身分証明書などの提示と、子供の認知誓約書の提出が求められます。

問

高額の治療費に躊躇せざるを得なかった方には大きな希望になると思うが、周知の考えは。

町長

「子供が欲しい」と願っても、高額な治療費により、子供を授かることを諦めてしまった方もあったのではと推測しています。この制度は不妊治療に対する経済的負担軽減



減のみならず、喫緊の課題である少子化にも対応したものと思えます。

町は子供を持ちたいという方々に寄り添った情報を、広報誌やSNSなどで発信できるように努めます。

高額療養費貸付制度とは

町長 ↓ 被保険者の金銭的負担を軽減させる制度

問

高額医療費貸付制度の内容

は。

町長

医療機関に医療費を支払う際に被保険者の自己負担限度額を超えた分を貸付する(※参照)制度で、社会福祉協議会が申請窓口です。

問

不妊治療費が100万円と仮定した場合の具体的な金額は。

町長

所得区分が210万円の被保険者で試算すると、被保険者の負担金3割の30万円から限度額分5万7600円を差し引いた24万2400円が保険者からの貸付額になります。

問

国保の被保険者などもこの制度の利用が可能か。

町長

国保被保険者も他の医療保険加入者も制度の利用ができます。

※参照

貸付金額は保険者(具体的には、南会津町国保など)から医療費機関(病院)に直接支払われるため、被保険者(保険証加入者)に返済の義務は生じません。



人口減少対策は

町長 ⇒ 課を超えた取り組みを推進していく

問

子育て支援の政策は執行部全課で取り組むべきと考えます。総合的な政策が今後必要では。

町長

昨年度本町において生まれた子どもの数は、49人で令和6年までに80人を維持する目標をたてており少子化は想定より早く進んでいる状況です。

子育て支援はこの少子化の問題と一体的に取り組む必要があります。子どもを産み育てたいと思える環境を作るには結婚・出産・子育てと切れ目のない支援の充実が必要です。子どもの貧困や虐待といった新たな問題に取り組むためにも、各課を超えた体制によって総合的な取り組みを推進していきます。

定住・移住を望む若者の独自の居住対策は

町長 ↓ さまざまなニーズに応じた政策を実施

問

定住を望む若者や移住者を促進するためには、所得に見合った住居の確保が必要です。空き家対策も含めた独自の政策は。

町長

定住相談 総合窓口 を開設し、ライフスタイルにより、賃貸物件・住宅取得など希望に応じた対策を講じています。賃貸の場合は、町営住宅の案内、不動産業



町営住宅（寺前地区）



定住促進すまいる補助金【町HP】



町営住宅など【町HP】



移住 定住【町HP】

こども家庭庁に対する認識は

教育長 ↓ 国の方向性に期待している

問

現在多様な問題を抱えている子どもたちが多くなってきたおり、国では子どもの最善の利益を優先するため「こども家庭庁（※参照②）」の発足準備が進められています。教育長の認識は。

教育長

「こども家庭庁」は国の子供政策を一元的に進める機関で、「企画立案・総合調整部門」「生育部門」「支援部門」の3部門が設置される予定です。法案が可決されたばかりですが、しっかりと子どもの育成に取り組む国の方向性に期待しているところです。

※参照

- ①「南会津町定住促進すまいる補助金」の詳細は、スマートフォンなどで上記のQRコードを読み取りご覧ください。
- ②「子ども政策の司令塔」とされ、内閣府の外局として発足し、子育て支援や少子化対策などにあたります。



町政を問う

一般質問

公約「保育料軽減」実現は

町長 ⇒ 子どもを産み育てやすい環境構築を目指す

問

町長選挙で掲げられた

公約の実現に向け、具体的方策を伺います。
「子育て支援策として0歳児から2歳児までの保育料負担軽減」の財政負担と効果は。

町長

無償化した場合、公立・

私立の保育所を合わせ最大で年間2千万円弱の財政負担が発生すると予想しています。

実施にあたっては、財政規模からどの程度の保育料負担軽減を進

問

関係人口創出のために

掲げている「山村留学など都市と農山村の交流促進」の具体的施策は。

町長

短期山村留学を館岩地

昨年度から5泊6日の

問

現在の財政状況に対する認識と観光施設の今後のあり方は。

町長

依存財源の割合が高い本町では、自主財源の確保、事務事業の見直し、経常経費抑制を進めていかなければなりません。

観光施設に限らず、公共施設の維持管理経費の増加が行政運営の負担になることが危惧されますので、公共施設の最適な配置を実現していく必要があると考えます。



チームビルディングツーリズムモニターツアーのようす



チームビルディングツーリズム
【町HP】

※参照

事業内容：地域資源を活用し、首都圏などの企業研修のメニューとして、継続して本町に訪れる仕組みづくりに取り組む事業。



原木・菌床オガ粉のブランド化を

町長 ⇒ 安心・安全の特産品を目指す



原木を非破壊検査機で検査

問

11年前の東日本大震災、福島第一原発事故により、県内外に放射線がばらまかれ、現在も県内の放射線量は高い数値です。

そんな中、南会津地区の放射線量は、基準を下回っていることが確認され、シイタケ原木などの生産を平成28年度から行っています。検査は、原木全数を非破壊検査機を通し行なっていますが、数値は基準値以下です。

町長

原木生産、オガ粉の菌床栽培を推奨しては。

安心・安全な南会津産の原木生産、オガ粉の菌床栽培の推奨は、広葉樹の利活用を図るうえでも有効と認識しています。生産量拡充のためには、年間の需要調査、新規ビジネスモデルの検証も必要であり、関係機関と連携し、生産者も交え協議していきます。

問

令和4年3月30日から、食品表示基準Q&A改訂により、菌床の植菌地を原産地として表示することが義務付けされました。

食の安心・安全への関心は、町民も高いと思います。この機会をとらえ、安心・安全な南会津産のシイタケ原木の生産、菌床オガ粉の生産の拡大を図り、ブランド化を目指しては。

町長

ブランド化に向けては、食の安心・安全が確保されたうえで、品質管理や安定供給のほか、販売戦略など、生産者が一体となって取り組むことが必要と考えます。

今後、生産者の意向を踏まえ、市場での評価や取引価格の現状、収益性が確保できる価格形成の調査研究に協力するなど、新たな特産品の検討を、関係機関と連携し進めます。



オガ粉菌床シイタケの発生状況

その他の質問

・森林環境税の活用を



町政を問う

一般質問

青柳橋改良工事を令和5年度計画に

町長 ⇒ 現時点で架け替えの計画はありません



青柳橋の現状（青柳地区）

問

町村合併時、懸案であった南郷橋架け替え工事も昨年度完成しました。合併時地域事業として掲げた青柳橋の改良については未だ実施には至っていません。町道改良工事（青柳橋整備上部工製作）の令和5年度以降の計画は。

町長

青柳橋に関する工事については、町村合併時に策定した、新町まちづくり計画の地域事業に掲げられていたことは把握しています。地域事業は、個別に実施を検討することとなっており、現時点で架け替えの計画はありません。青柳橋の架け替えに

については、他の橋梁きょうりょうを含め、必要性を検討していきます。

多々石地区公共交通の取り組みは

町長 ↓ 近隣地域の交通事業者と協議中

問

多々石地区公共交通の取り組みの検討状況は。

町長

町では、持続可能な公共交通網の形成を目指し、現在、デマンド交通による運行の検討を進めています。伊南地域にはタク

シー事業者がいらないことから、新たな公共交通網の整備は、地域住民による自家用有償運行の検討を進めてきました。今後は、地域住民や事業者と話し合いを重

ねながら、伊南地域に合った公共交通網の検討を進めていきます。



公共交通網検討中の多々石地区



「星空観察による観光誘客推進」への道筋は

町長 ⇒ まずは町全体の機運を高めていく



日本屈指の美しさ
本町の星空

問

町長の選挙公約「星空観察の適地性を全面に出した宿泊型観光誘客の推進を目指す」実現への道筋は。

町長

町内の天文愛好者や、すでに星空観察に取り組んでいる方などの意見や助言を聞きながら、事業を組み立てていきます。

町民のみなさんに

も、地域資源である星空の魅力を認識していただきたいと考えています。

現時点では、星空ガイドの育成や受入体制の構築、星空イベントの開催などの検討を進めます。

さらに、株式会社みなみあいづや大手旅行代理店と連携した旅行商品の開発なども考えています。

問

大型望遠鏡を備えた本格的な天文台建設の考えは。

町長

本格的な天文台の建設よりも、星空の適地性について、広く情報発信を行い、町全体の機運を高めていくことを優先します。

また、田村市の「星の村天文台」や福島市の「浄土平天文台」との連携を模索するなど、無理のない事業展開に努めていきます。

検沢地域デマンドタクシーの状況は

町長 ↓ 利用者が少ないため、今後周知徹底

問

4月1日より検沢地域でのデマンドタクシーが実証運行を開始しました。利用状況と現時点での問題は。

町長

利用の状況は、4月が27名、5月が30名です。新型コロナウイルス拡大により、運行開始前の各集落での住民説明会ができませんでした。

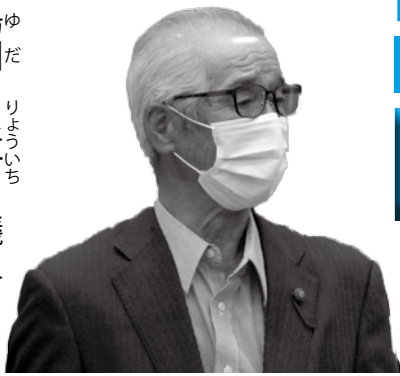
実証運行を開始して間もないこともあり、

利用者から「制度の仕組みが分からない」、「予約に少し戸惑っている」との声もあります。

今後、集落の会議や健康サロンなど、人が集まる場に積極的に足を運び、周知徹底に努めていきます。

その他の質問

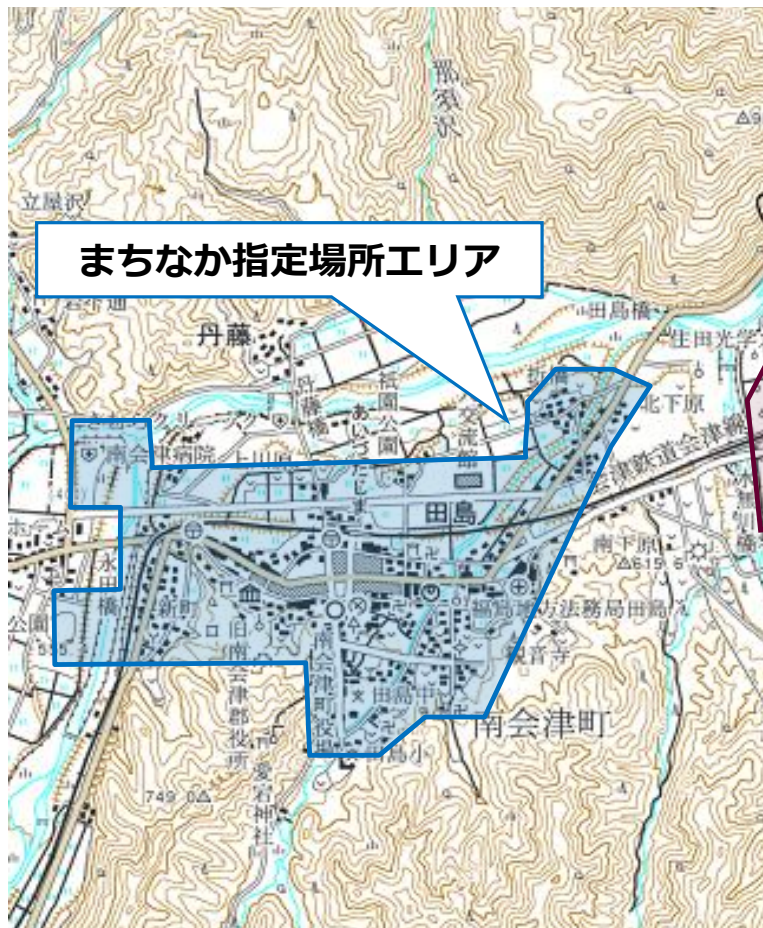
- ・ドローンによる災害対応・農林業振興・観光振興の協議会（クラブ）の設立を
- ・ICT授業の進捗状況、課題及び今後の計画は



町政を問う
一般質問

デマンドタクシーのエリアを拡大しては

町長 ⇒ 高齢化社会の移動手段を研究



問

デマンドタクシーは、田島地域のまちなかでは、エリア外のため利用できません。

まちなかの高齢者が利用できるように、エリアを拡大しては。

町長

デマンドタクシーの導入については、通院や買い物などの生活の足

を確保するため、南会津町地域公共交通網形成計画に基づき、計画的に運行エリアの拡大を進めています。

運行中のデマンドタクシーは、医療機関や商業施設、行政機関などの中心地から遠方に居住する方の利便性向上を目的としているため、まちなかエリア内での指定場所間の移動

には、利用できない状況です。

町内全ての高齢者をはじめ、自家用車を持たない方が安心して利用できる公共交通網整備の実現に向け、交通事業者や関係機関と協議を重ね、さらに進展していく高齢化社会における移動手段について、研究していきます。

ワクチン4回目接種を若年層に

町長 ↓ 接種は国の指示

問

5月中旬に、町内で小・中学生などへの感染が多く発生しました。

今後、町から感染者を出さないためにも、町独自で若年層への4回目接種をしては。

町長

接種は国の指示で行っており、独自の接種はできません。

町ではいかなる状態になっても迅速に対応できる体制は維持していきます。



南会津町乗合・デマンドタクシー【町HP】

文教厚生委員会

丸山陽子・川島進・五十嵐芳道・山内政・楠正次

ひきこもりと自立支援事業への理解を深める

町役場において、福島県若年者支援センター（ユースプレイスin南会津）の若者自立支援主任 成田久美子氏を講師にお迎えし、「ひきこもり自立支援事業について」の講義と質疑を行いました。

【調査目的】

- 一、ひきこもりへの理解を深めること。
- 二、社会的資源としてどのような支援や機関が当事者及び関係者の助けになるのか理解すること。
- 三、南会津町のひきこもりの状況を知ること。

【調査】

ユースプレイスとは

・「ユースプレイス自立支援事業」は、県から委託され孤立感などのさまざまな悩みを抱える人々に「居場所」を提供し、イベントへの参加や交流、情報交換を通して、



講師の成田久美子氏

その先の一步につなげることを目的としています。現在は、会津若松市、喜多方市、南会津町で事業を展開しています。

・特技のイラストを使用した商品が作成され、自立に向け一歩踏み出しつつある利用者もあります。

・高校卒業資格を取得するため通信制高校に入学する方も増えてきています。

・不登校からひきこもりになるケースもあり、学校から「ユースプレイスin南会津」の見学の要望もあります。

【各委員の所見】

〔川島委員〕当事者に関われるのは「支援相談士」だけであり、我々は直接的に何もできないのではないのでしょうか。「ユースプレイス自立支援事業」を把握・理解し、側面からバックアップしていけたらと考えます。

〔五十嵐委員〕精神障害・発達障害を持つ場合、同時にそのケアも必要と感じます。

〔山内委員〕人数は少ないが、確実に「居場所」に通う方がいる事で、少しずつ進展していると感じます。引き続きこの事業をPRして一人でも立ち上がって歩き始める人の手助けになれば良いと思います。

〔楠委員〕「家族カフェ」があり、ご家族の方が相談員と相談の機会はありませんが、家族同士が情報交換し、家族の苦労を緩和させるために「ひきこもり家族会」（仮称）情報交換会的な集いも必要と感じます。

〔丸山委員〕ご家族もご本人も、ひきこもりが恥ずかしいと感じてはいけなく、感じさせてもいけないと思います。

一緒に、社会に一步步み出せるよう、周りからの声かけやサポートが必要と感じます。



講師（写真中央）と文教厚生委員

【総括】

居場所づくりの継続が大事

全委員、今回の調査の中で「ひきこもり」はデリケートな問題であり、ひきこもりの実態はかなりあるものの、プライバシー保護の観点からも全ての方に声をかけていくことはなかなか困難であると認識しました。

また、ひきこもりから一步步み出すため、「居場所づくりの事業の継続が大事である」と感じました。

広報委員会

五十嵐芳道・馬場 浩・川島 進・
渡部 訓正・大桃 英樹

住民目線の広報誌を目指し

広報研修会を受講

福島市での広報研修会に参加しました。

研修は県町村議会議長会主催、「広報誌の広報力を高めるために」をテーマに県内41の町村議会が参加して実施されました。

研修の内容は2つの構成で、グラフィックデザイナーの長岡^{ながおか}光弘^{みつひろ}氏講師の講義後、「議会広報クリニック」として事前

に希望した7町村の広報誌の講評が行われました。



聴講する町議会広報委員



「議会広報クリニック」のようす
【町議会だより63号】表紙について

指摘された部分もありましたが、おおむね肯定的な評価を受け、課題が見えると共に、自信にもつながりました。

今後、委員会全員で協力し、より読みやすく、議会の役割が伝わる住民目線の広報誌を目指します。

当選議員の紹介

令和4年4月24日 町議会議員補欠選挙

今期で4期目
任期は令和5年4月30日まで



わたなべ まさる
渡部 優 (68歳)

議席番号：4番
所属委員会
・産業建設委員
議員期数：4期目
党派：無所属
地区：田島・古今地区

4月24日に行われた町議会議員補欠選挙で、渡部^{わたなべ}優^{まさる}氏（無所属・元）が当選しました。任期は令和4年4月24日から令和5年4月30日までです。

この結果、町議会議員の現員数は定数の16人となりました。

渡部氏は過去に田島町議会で1期、南会津町議会で2期の議員経験があり、今回で4期目となります。

第73回 南会津地方町村議会議員大会
主 催 南会津地方町村議会議長会



提案する五十嵐 議員

提案する川島 議員

南会津町議会要望事項

- ①国道289号（駒止峠）無散水融雪施設設置と
国道352号（穴原～耻風間）の改良促進
- ②「栃木西部・会津南道路」と「会津縦貫南道路」
の一体的な整備促進について
- ③有害鳥獣被害防止対策について
- ④中山間地域における医療の充実と県立南会津病院
の常勤医確保について

3年ぶりの議員大会 町議員全員で参加

季の郷湯ら里（只見町）で、南会津地方町村議会議長会が主催する議員大会が、3年ぶりに開催されました。

大会は南会津郡内4町村の議員が一堂に会して、南会津地方の諸問題を共同で解決していくことを目的に開催され、今回で73回目となります。

川島・五十嵐両議員が要望提案

町議会から川島 進議員と五十嵐芳道議員が4つの要望事項（左要望事項）を提案しました。また、室井嘉吉議長が議員大会決議案を提案し、満場一致で決議されました。今後は国と県に対し、実現に向けた粘り強い要望活動が行われます。



議員全員が参加しました

室井議長に県町村議会議長会から感謝状



県理事として2年

南会津方部議員大会において、
 県町村議会議長会の小椋 眞会長
おぐら まこと
 より室井嘉吉議長に感謝状が贈ら
 れました。

室井議長は県町村議会議長会理
 事として令和2年4月から令和4
 年3月までの2年間、南会津方部
 4町村議会の代表として尽力され
 ました。



大桃英樹 議員 室井嘉吉 議員 楠 正次 議員 湯田良一 議員

福島県町村議会議長会表彰

4名の議員が表彰され、第2回定例会にお
 いて伝達されました。

特別功労者表彰

議員在職20年以上
 楠 正次 議員

自治功労者表彰

議員在職11年以上
 湯田良一 議員
 大桃英樹 議員
 室井嘉吉 議長

議会を傍聴してみませんか
 議場ではどんな発言があるのか、どんな町づくりを考えている
 のか直接聞くことができます。

次回、第3回定例会 9月9日(金)開会予定

○議会を傍聴する手続きは簡単です。
 本庁3階の議場傍聴席入り口で氏名と住所を書きだけです。

○会議の様子は、You Tube でもご覧いただけます。

※スマートフォンをお持ちの方は、右記のQRコード読み取り
 から直接リンクにアクセスし視聴できます。

南会津町議会中継【YouTube】



6月定例会会期中
 傍聴者は7名でした。

議会広報委員会

委員 長	室井 英雄
副委員 長	五十嵐 芳道
委 員	馬場 浩
	川島 進
	渡部 訓正
	大桃 英樹

はばたけ！ 南会津の子どもたち

館岩地域放課後子ども教室「わいわい遊び塾」

一年を通し低学年から高学年まで学年を超えた幅広い体験活動を行っています。

コーディネーターの「岩堀めぐみいわほり」さんにお話を伺いました。

Q 参加している児童とスタッフの人数は。

岩堀さん

児童数は18人、スタッフは12人です。

Q どんな活動を行っていますか。

岩堀さん

調理実習をしたり、赤かぶなどを育てたり、スケッチや工作など表現活動や、季節を感じながら散歩をしたり、館岩の良



赤かぶの種まき

Q 活動を通じて期待することは。

館岩は集落が離れていて、帰宅後に友達と遊ぶ機会があまりありません。自分で考えて自由に遊ぶ時間もできるだけとりたいと思っています。

岩堀さん

子どもが少ないことをマイナスイ面に捉えがちですが、少人数だからこそ出来ることや育つ能力もたくさんあります。

一つ一つの活動を通して、臆することなく自分を思いっきり表現して、個性豊かに、自己肯定感を持てる人に育ってほしいと思います。

生活の中には実は「遊び」がいっぱい隠れています。あれがなくては遊べない、これがなくては楽しくないというのではなく、想像力を持つことで、いつでもどこでも楽しく過ごせることに気付いてほしいです。



協力して水やり



みんなで収穫

Q

スタッフとしてのやりがいは。

岩堀さん

子どもたちがいい笑顔で帰っていくのを見ると、今日も充実した日だったなと感じて嬉しいです。



地域のかたといっしょにつくり、育てる



名産「赤かぶ漬け」づくり

Q

町へ要望はありますか。

岩堀さん

保護者の方や子どもたちから、もっと回数を増やしてほしいとの要望が毎年ありますが、平日の昼間に集まれるスタッフが少ないのが現状です。スタッフの拡充に手助けをしていただきたいと思います。



シャボン玉遊び

写真 ©2021 わいわい遊び塾